令和７年度進行管理シート　　様式１

≪基本目標１≫「強靭」な水道の構築

主要施策（１）安定給水の確保

主な取組名　①　浄・給水場等の更新・整備

主な事業名	ちば野菊の里浄水場（第２期）施設整備事業【計画課】→【建設課】（R8～）					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
229,514	91,270	141,515	232,785	223,627	8,239	231,866
達成指標	（ア）ちば野菊の里浄水場（第２期）施設整備の推進			達成状況	―	

【R7 年度事業計画】
　令和６年３月に施設の稼働となり、計画は完了しました。
　なお、令和７年度は、場内整備工事や工事用仮設橋梁撤去工事などの残工事を実施していきます。

【事業の実施状況】
　令和７年度は、場内整備工事等が完了し、工事用仮設橋梁撤去工事に着手しました。

【今後の具体的取組】
　本事業は、令和５年度に施設を稼働したことから、主要施策である安定給水の確保について達成しました。
　引き続き、残工事を進め、事業の着実な進捗を図っていきます。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	洗浄排水池築造工事の完成	洗浄排水池機械設備工事の完成	施設の稼働	―	―
実績	洗浄排水池築造工事の完成	洗浄排水池機械設備工事の完成	施設の稼働	―	―

主な事業名	栗山浄水場給水場化に係る施設整備事業【計画課】→【建設課】（R8～）					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
27,764	0	0	0	0	0	0
達成指標	（イ）栗山浄水場給水場化に係る施設整備の推進			達成状況	進展していない	

【R7 年度事業計画】
　旧栗山浄水場（栗山給水場）については、浄水施設の撤去と併せて、老朽化が進行している配水池やポンプ設備など送配水施設の再整備を進めます。
　令和７年度は、浄水施設撤去に向けた準備工事として、送配水用の水質計器（残塩計等）の移設を行ってまいります。

【事業の実施状況】
　令和７年度は、浄水施設撤去に係る電気設備撤去移設工事の発注を行いました。

【達成状況の分析及び課題】
　浄水施設撤去に係る電気設備撤去移設工事を発注しましたが、入札不調により未執行となったため、目標を「進展していない」と評価しました。

【今後の具体的取組】
　今後は、浄水施設の撤去工事に着手する計画であり、引き続き、事業の着実な進捗を図っていきます。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	基本設計業務委託の完了	実施設計業務委託の発注	地質調査業務委託の発注	浄水施設撤去に係る実施設計業務委託の完了・浄水施設撤去方法の決定	浄水施設撤去工事の着手
実績	基本設計業務委託の完了	浄水施設撤去に係る実施設計業務委託の発注	地質調査業務委託の発注	浄水施設撤去に係る実施設計業務委託の完了・浄水施設撤去方法の決定	浄水施設撤去工事の入札不調

令和７年度進行管理シート　　様式１

主な事業名	浄・給水場等の非常用自家発電設備、燃料用タンクの整備【浄水課】→【建設課】（R8～）

R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
1,699,474	1,540,801	8,209,564	9,750,365	7,219,907	831,567	8,051,474

達成指標	（ウ）自家発電設備の増強施設数	達成状況	概ね達成している

【R7 年度事業計画】
大規模な停電時においても、安定して水を供給できるように、浄・給水場における非常用自家発電設備の増強（72 時間対応へ）を実施します。
令和７年度は、木下取水場、柏井浄水場、北船橋給水場、千葉配水場、船橋給水場における非常用自家発電設備の増強が完了します。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	0 施設/累計（5 施設の工事着手）	0 施設/累計（6 施設の工事着手）	3 施設/累計（14 施設の工事着手）	20 施設/累計	15 施設/累計
実績	0 施設/累計（4 施設の工事着手）	0 施設/累計（2 施設の工事着手）	2 施設/累計（10 施設の工事着手）	9 施設/累計（20 施設の工事着手）	14 施設/累計（20 施設の工事着手）

※ 令和６年度までに 20 施設/累計の増強を計画していたが、進捗を踏まえ、令和７年度までに 15 施設/累計に計画を見直しした。

【事業の実施状況】
木下取水場、印旛取水場、北船橋給水場、船橋給水場、及び千葉配水場の５施設で、自家発電設備の増強が完了しました。

【達成状況の分析及び課題】
全２０施設で、自家発電設備の増強を実施しているところですが、柏井浄水場では、自家発電設備と消防設備の連携に不具合が判明し、その対応により時間を要したため、令和７年度に増強完了と至りませんでした。
以上のことから、計画に対する実績は、１５施設中１４施設で令和７年度の完了となったため、「概ね達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
妙典給水場、松戸給水場、沼南給水場、姉崎分場、及び柏井浄水場は、引き続き工事を進め、令和８年度に増強完了となる見込みです。幕張給水場は、建築工事が令和７年度末に契約となり、令和１０年度に完了見込みです。
これらについては、引き続き工事の進捗管理を行い、早期に完了できるよう取り組んでまいります。

主な取組名　②　管路の更新・整備

主な事業名	鋳鉄管更新工事【給水課】

R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
30,400,000	27,362,850	10,745,161	38,108,011	26,649,179	10,606,029	37,255,208

達成指標	（エ）小中口径管の更新延長	達成状況	概ね達成している

【R7 年度事業計画】
近い将来に発生が懸念される首都直下地震等の大規模地震に備え、湾岸埋立地域の管路や、病院・防災拠点等の重要給水施設への管路を優先するとともに、強度が低下するおそれや赤濁水の発生が懸念される管路等について更新します。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	80km/年	80km/年	80km/年	80km/年	80km/年
実績	73.5 km/年	80.0 km/年	66.9 km/年	78.6 km/年	79.5 km/年

【事業の実施状況】
令和７年度の実績は、計画の 80 ㎞に対し、79.5 ㎞となりました。（目標に対する実績は、99%）

【達成状況の分析及び課題】
一部入札不調となったことなどにより、進捗に遅れが生じ、計画に対する達成実績は 99%となっていることから「概ね達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
入札不調への対策として柔軟な工期設定が可能なフレックス工期契約制度の活用や工事の平準化、必要に応じて工事規模の見直しを行い計画的に実施していきます。

主な事業名	大口径管路更新工事（一拡栗山～船高線他）【給水課】→【建設課】（R8～）					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
3,216,933	1,612,440	774,736	2,387,176	1,506,436	521,858	2,028,293
達成指標	（オ）大口径管路更新の実施			達成状況	進展していない	

【R7 年度事業計画】
ダクタイル鋳鉄管※よりも強度が低い高級鋳鉄管※を使用した大口径管路について、重要度及びバックアップの可否を評価基準とした優先順位を付けて更新を進めます。
令和７年度は、一拡園生～登戸線、一拡船高～園生線、園生～小倉線、花見川団地線、根本～岩瀬線の５路線において、計９件の工事に着手します。

※ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管：高級鋳鉄管より管体強度が高く、耐震性に優れている水道管で、現在、県営水道で主に使用している。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	３路線・計５件の工事着手	５路線・計７件の工事着手	５路線・計８件の工事着手	４路線・計８件の工事着手	５路線・計９件の工事着手
実績	２路線・計２件の工事着手	２路線・計３件の工事着手	１路線・計２件の工事着手	１路線・計１件の工事着手	２路線・計２件の工事着手

※高級鋳鉄管：昭和５年から昭和 46 年頃まで製造された水道管で、ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管より管体強度が弱く、耐震性が低い。県営水道では、昭和 40 年頃まで布設し、現在でも一部に使用している。

【事業の実施状況】
令和７年度は、計画していた９件の工事のうち、一拡園生～登戸線及び一拡船高～園生線の２路線において２件の工事に着手しました。

【達成状況の分析及び課題】
工事着手を予定していた７件のうち、２件は応札者がおらず、入札不調となり未着手となりました。２件は他企業管が輻輳していること等により実施設計の進捗に遅れが生じているため、工事発注を見合わせました。残る工事については、他事業の進捗に合わせて実施する必要があり、他事業が遅れていること、また、道路管理者による舗装修繕工事により掘削規制となったこと等の理由により、発注を見合わせました。
以上の理由により、計画に対する実績は 22.2%となったことから、「進展していない」と評価しました。

【今後の具体的取組】
令和７年度に入札不調となった２件及び実施設計が遅れている２件の計４件は、令和８年度に発注を予定しています。また、今後、計画どおりの工事発注を目指す上では、これまで道路管理者等との協議に時間を要し、工事発注が遅れてきたことを踏まえ、基本設計時に試掘を行う等の改善策を取ることで、事業の進捗に努めてまいります。

主な事業名	基幹管路の整備（第二木下～柏井導水管）【計画課】→【建設課】（R8～）					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
400,572	61,726	0	61,726	4,587	25,421	30,008
達成指標	（カ）基幹管路の整備の推進			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
既設導水管を運用しながら代替管路を整備し、老朽化対策・耐震化を図ることで安定給水を確保することを目的として、第二木下～柏井導水管の整備を進めます。
令和７年度は、第４工区の実施設計業務委託の検討に必要となる地質調査を実施するとともに、事業に必要となる用地の確保に向けた業務等を行っていきます。

【事業の実施状況】
令和７年度は、計画どおり、第４工区の地質調査業務委託を発注しました。

【達成状況の分析及び課題】
計画していた第４工区の地質調査業務委託を発注したことから、目標を「達成している」と評価しました。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	実施設計業務委託の完了（第３工区）	実施設計業務委託の完了（第５工区）	実施設計業務委託の完了（第８工区）	実施設計業務委託の完了（第６工区・第７工区）	地質調査業務委託の発注（第４工区）
実績	実施設計業務委託の着手（第６工区・第７工区）	実施設計業務委託の完了（第３工区・第５工区）	実施設計業務委託の完了（第８工区）	実施設計業務委託の完了（第６工区・第７工区）	地質調査業務委託の発注（第４工区）

【今後の具体的取組】
引き続き、第４工区の業務委託を進めるとともに、事業に必要となる用地の確保に向けた業務等を進めてまいります。

主要施策（２）災害に強い施設整備の推進

主な取組名　①　浄・給水場等の耐震化の推進

主な事業名	印旛取水場～柏井浄水場間の調圧水槽の耐震化、船橋給水場配水池の耐震化 【浄水課】→【建設課】（R8～）					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0	121,963	405,240	527,203	488,818	0	488,818
達成指標	（ア）設備耐震化工事の実施			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
水を送水する際に管の中の圧力を調整している調圧水槽、一時的に貯水し安定した給水を行うための配水池等について、耐震診断および経年劣化等の状況を踏まえた耐震化を進めていきます。
令和７年度は、印旛系１号調圧水槽耐震化工事を完了します。

【事業の実施状況】
印旛系１号調圧水槽耐震化工事が完了し、令和８年３月に供用開始しました。

【達成状況の分析及び課題】
令和７年度に計画していた１件の工事が完了したことから、「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
本事業は令和７年度に耐震化が完了し、主要施策である災害に強い施設整備の推進の確保を達成しました。
今後は、引き続き浄水場等の施設について、計画的な耐震化を推進し、災害に強い施設整備に取り組みます。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	印旛系２号調圧水槽耐震化工事設計委託の完了	印旛系２号調圧水槽耐震化工事の着手	印旛系１号調圧水槽耐震化工事の着手	印旛系２号調圧水槽耐震化工事の完了 印旛系１号調圧水槽耐震化工事の完了	印旛系１号調圧水槽耐震化工事の完了
	―	船橋給水場１号配水池耐震化工事の着手	船橋給水場１号配水池耐震化工事の完了	―	―
実績	―	印旛系２号調圧水槽耐震化工事の着手 船橋給水場１号配水池耐震化工事の着手	印旛系１号調圧水槽耐震化工事の着手 船橋給水場１号配水池耐震化工事の完了	印旛系２号調圧水槽耐震化工事の完了	印旛系１号調圧水槽耐震化工事の完了

※ 令和６年度までに印旛系１号調圧水槽耐震化工事の完了を計画していたが、進捗を踏まえ、令和７年度までの完成に計画を見直しした。

主な取組名　②　管路の耐震化の推進

主な事業名	鋳鉄管更新工事（再掲）【給水課】						
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)			
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計	
30,400,000（再掲）	27,362,850（再掲）	10,745,161（再掲）	38,108,011（再掲）	26,649,179（再掲）	10,606,029（再掲）	37,255,208（再掲）	
達成指標	（イ）湾岸埋立地域の管路更新延長			達成状況	達成している		

【R7 年度事業計画】
東日本大震災の際に液状化が発生し、甚大な被害が生じたことを踏まえ、湾岸埋立地域については、大口径管路から分岐している主要な管路等を中心に耐震化を進めます。

【事業の実施状況】
令和７年度の実績は、計画 26.5㎞ に対し、26.8㎞ となりました。（目標に対する実績は 101%）

【達成状況の分析及び課題】
実績が計画を上回っていることから、「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
引き続き、湾岸埋立地域の管路を優先して耐震化していきます。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	26.5㎞/年	26.5㎞/年	26.5㎞/年	26.5㎞/年	26.5㎞/年
実績	28.7㎞/年	28.2㎞/年	22.3㎞/年	30.3㎞/年	26.8㎞/年

主な事業名	鋳鉄管更新工事（再掲）【給水課】						
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
30,400,000（再掲）	27,362,850（再掲）	10,745,161（再掲）	38,108,011（再掲）	26,649,179（再掲）	10,606,029（再掲）	37,255,208（再掲）
達成指標	（ウ）最重要給水施設管路の更新延長			達成状況	未達成だが進展している	

【R7 年度事業計画】
重要給水施設管路のうち、最重要給水施設に位置づけた「災害拠点病院」及び「災害医療協力病院」並びに「防災拠点」に供給する管路の耐震化を進めます。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	2.0㎞/年	6.0㎞/年	8.0㎞/年	8.0㎞/年	8.0㎞/年
実績	1.9㎞/年	4.5㎞/年	8.2㎞/年	5.5㎞/年	5.5㎞/年

【事業の実施状況】
令和７年度の実績は、計画 8.0㎞ に対し、5.5㎞ となりました。（目標に対する実績は 69%）

【達成状況の分析及び課題】
一部入札不調となった工事や、道路管理者等との協議に時間を要したことなどにより進捗に遅れが生じている工事があり、計画に対する達成実績は 69%となりましたが、事業は進展していることから「未達成だが進展している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
入札不調への対策として、柔軟な工期設定が可能なフレックス工期契約制度の活用や、必要に応じて工事規模の見直しを行うとともに、予定通りに工事が進むよう、設計業務委託の段階から、道路管理者等との綿密な協議・調整を行うなど計画的に実施していきます。

主な事業名	鋳鉄管更新工事（再掲）【給水課】						
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
30,400,000（再掲）	27,362,850（再掲）	10,745,161（再掲）	38,108,011（再掲）	26,649,179（再掲）	10,606,029（再掲）	37,255,208（再掲）
達成指標	（エ）小中口径管の更新延長（再掲）			達成状況	概ね達成している	

【R7 年度事業計画】
近い将来に発生が懸念される首都直下地震等の大規模地震に備え、湾岸埋立地域の管路や、病院・防災拠点等の重要給水施設への管路を優先するとともに、強度が低下するおそれや赤濁水の発生が懸念される管路等について更新します。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	80㎞/年	80㎞/年	80㎞/年	80㎞/年	80㎞/年
実績	73.5㎞/年	80.0㎞/年	66.9㎞/年	78.6㎞/年	79.5㎞/年

【事業の実施状況】
令和７年度の実績は、計画の 80 ㎞に対し、79.5 ㎞となりました。（目標に対する実績は、99%）

【達成状況の分析及び課題】
一部入札不調となったことなどにより、進捗に遅れが生じ、計画に対する達成実績は 99%となっていることから「概ね達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
入札不調への対策として柔軟な工期設定が可能なフレックス工期契約制度の活用や工事の平準化、必要に応じて工事規模の見直しを行うとともに、道路管理者等との綿密な協議・調整を行うなど計画的に実施していきます。

主な事業名	大口径管路更新工事（一拡栗山～船高線他）（再掲）【給水課】→【建設課】（R8～）					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
3,216,933（再掲）	1,612,440（再掲）	774,736（再掲）	2,387,176（再掲）	1,506,436（再掲）	521,858（再掲）	2,028,293（再掲）
達成指標	（オ）大口径管路更新の実施（再掲）			達成状況	進展していない	

【R7 年度事業計画】
ダクタイル鋳鉄管※よりも強度が低い高級鋳鉄管※を使用した大口径管路について、重要度及びバックアップの可否を評価基準とした優先順位を付けて更新を進めます。
令和７年度は、一拡園生～登戸線、一拡船高～園生線、園生～小倉線、花見川団地線、根本～岩瀬線の５路線において、計９件の工事に着手します。

※ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管：高級鋳鉄管より管体強度が高く、耐震性に優れている水道管で、現在、県営水道で主に使用している。
※高級鋳鉄管：昭和５年から昭和 46 年頃まで製造された水道管で、ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管より管体強度が弱く、耐震性が低い。県営水道では、昭和 40 年頃まで布設し、現在でも一部に使用している。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	３路線・計５件の工事着手	５路線・計７件の工事着手	５路線・計８件の工事着手	４路線・計８件の工事着手	５路線・計９件の工事着手
実績	２路線・計２件の工事着手	２路線・計３件の工事着手	１路線・計２件の工事着手	１路線・計１件の工事着手	２路線・計２件の工事着手

【事業の実施状況】
令和７年度は、計画していた９件の工事のうち、一拡園生～登戸線及び一拡船高～園生線の２路線において２件の工事に着手しました。

【達成状況の分析及び課題】
工事着手を予定していた７件のうち、２件は応札者がおらず、入札不調となり未着手となりました。２件は他企業管が輻輳していること等により実施設計の進捗に遅れが生じているため、工事発注を見合わせました。残る工事については、他事業の進捗に合わせて実施する必要があり、他事業が遅れていること、また、道路管理者による舗装修繕工事により掘削規制となったこと等の理由により、発注を見合わせました。
以上の理由により、計画に対する実績は 22.2%となったことから、「進展していない」と評価しました。

【今後の具体的取組】
令和７年度に入札不調となった２件及び実施設計が遅れている２件の計４件は、令和８年度に発注を予定しています。また、今後、計画どおりの工事発注を目指す上では、これまで道路管理者等との協議に時間を要し、工事発注が遅れてきたことを踏まえ、基本設計時に試掘を行う等の改善策を取ることで、事業の進捗に努めてまいります。

主な事業名	基幹管路の整備（第二木下～柏井導水管）（再掲）【計画課】→【建設課】（R8～）					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
400,572（再掲）	61,726（再掲）	0（再掲）	61,726（再掲）	4,587（再掲）	25,421（再掲）	30,008（再掲）
達成指標	（カ）基幹管路の整備の推進（再掲）			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
既設導水管を運用しながら代替管路を整備し、老朽化対策・耐震化を図ることで安定給水を確保することを目的として、第二木下～柏井導水管の整備を進めます。
令和７年度は、第４工区の実施設計業務委託の検討に必要となる地質調査を実施するとともに、事業に必要となる用地の確保に向けた業務等を行っていきます。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	実施設計業務委託の完了（第３工区）	実施設計業務委託の完了（第５工区）	実施設計業務委託の完了（第８工区）	実施設計業務委託の完了（第６工区・第７工区）	地質調査業務委託の発注（第４工区）
実績	実施設計業務委託の着手（第６工区・第７工区）	実施設計業務委託の完了（第３工区・第５工区）	実施設計業務委託の完了（第８工区）	実施設計業務委託の完了（第６工区・第７工区）	地質調査業務委託の発注（第４工区）

【事業の実施状況】
令和７年度は、計画どおり、第４工区の地質調査業務委託を発注しました。

【達成状況の分析及び課題】
計画していた第４工区の地質調査業務委託を発注したことから、目標を「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
引き続き、第４工区の業務委託を進めるとともに、事業に必要となる用地の確保に向けた業務等を進めてまいります。

主な取組名　③　停電・浸水対策等の強化

主な事業名	浄・給水場等の非常用自家発電設備、燃料用タンクの整備（再掲） 非常用自家発電設備用燃料の確保【浄水課】→【建設課】（R8～）					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
1,711,970(※)	1,553,297	8,209,564	9,762,861	7,232,403	831,567	8,063,970
達成指標	（キ）自家発電設備の増強施設数（再掲）			達成状況	概ね達成している	

【R7 年度事業計画】
大規模な停電時においても、安定して水を供給できるように、浄・給水場における非常用自家発電設備の増強（72 時間対応へ）を実施します。
令和７年度は、木下取水場、柏井浄水場、北船橋給水場、千葉配水場、船橋給水場における非常用自家発電設備の増強が完了します。
また、R7 年度も引き続き燃料供給事業者との災害時等に備えた燃料油の備蓄及び供給に関する協定を維持し、燃料を確保します。

※一部再掲
浄・給水場等の非常用自家発電設備、
燃料用タンクの整備（再掲）　1,699,474（千円）
非常用自家発電設備用燃料の確保　12,496（千円）

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	0 施設/累計（5 施設の工事着手）	0 施設/累計（6 施設の工事着手）	3 施設/累計（14 施設の工事着手）	20 施設/累計	15 施設/累計
実績	0 施設/累計（4 施設の工事着手）	0 施設/累計（2 施設の工事着手）	2 施設/累計（10 施設の工事着手）	9 施設/累計（20 施設の工事着手）	14 施設/累計（20 施設の工事着手）

※ 令和６年度までに 20 施設/累計の増強を計画していたが、進捗を踏まえ、令和７年度までに 15 施設/累計に計画を見直しした。

【事業の実施状況】
木下取水場、印旛取水場、北船橋給水場、船橋給水場、および千葉配水場の５施設で、自家発電設備の増強が完了しました。また、燃料確保のため、燃料油の備蓄及び供給に関する協定を維持しています。

【達成状況の分析及び課題】
全２０施設で、自家発電設備の増強を実施しているところですが、柏井浄水場では、自家発電設備と消防設備の連携に不具合が判明し、その対応により時間を要したため、令和７年度に増強完了と至りませんでした。
以上のことから、計画に対する実績は、１５施設中１４施設で令和７年度の完了となったため、「概ね達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
妙典給水場、松戸給水場、沼南給水場、姉崎分場、及び柏井浄水場は、引き続き工事を進め、令和８年度に増強完了となる見込みです。幕張給水場は、建築工事が令和７年度末に契約となり、令和１０年度に完了見込みです。
これらについては、引き続き工事の進捗管理を行い、早期に完了できるよう取り組んでまいります。

主な事業名	計装設備の電源強化、大型土嚢等の設置、防水扉等の設置【浄水課】→【建設課】（R8～）					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
-	-	-	-	-	-	-
達成指標	（ク）計装設備の電源強化施設数及び浸水対策施設数			達成状況	―	

【R7 年度事業計画】
平成 30 年に発生した北海道胆振東部地震による大規模停電や令和元年房総半島台風による停電・浸水被害などの状況を踏まえ、非常用自家発電設備の強化及び浸水対策に取り組みました。

【事業の実施状況】
令和４年度で事業は完了しました。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	3 施設/累計	9 施設/累計	―	―	―
実績	3 施設/累計	9 施設/累計	―	―	―

主要施策（３）危機管理体制の充実

主な取組名　①　緊急時に備えた体制の充実

主な事業名	非常時対応訓練の実施【計画課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
72	21	0	21	21	0	21
達成指標	非常時対応訓練の実施 （ア）テーマ型訓練の実施 支援協力員との応急給水訓練の実施			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】

「非常時対応訓練」については、１回目として年度当初に新体制で、初動対応を確認する訓練を行い、２回目として下半期に、初動対応から対策本部及び現地本部の立上げ、本部会議の運営、情報収集伝達、応急給水・応急復旧の計画作成等、震災対応の一連の訓練を行うことで、災害対応力の向上を図ります。

なお、総務企画課と連携しながら、訓練内容の検討を行います。

「テーマ型訓練」については、各所属が独自にテーマ（停電対応、応急給水等）を定めて実施します。

		R3	R4	R5	R6	R7
計画	非常時対応訓練	2 回/年	2 回/年	2 回/年	2 回/年	2 回/年
	テーマ型訓練	112 回/年	112 回/年	112 回/年	112 回/年	112 回/年
	支援協力員訓練	1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年
実績	非常時対応訓練	2 回/年	2 回/年	2 回/年	2 回/年	2 回/年
	テーマ型訓練	129 回/年	120 回/年	121 回/年	126 回/年	120 回/年
	支援協力員訓練	1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年

「支援協力員との応急給水訓練」については、「千葉県企業局水道事業災害時支援協力員制度」に登録している支援協力員を対象として、地震発生時等に、迅速かつ効果的な活動が実施できるよう、応急給水訓練等を実施します。

【事業の実施状況】

「非常時対応訓練」については、６月と 10 月に計２回の訓練を実施することにより、災害対応力の向上を図りました。

「テーマ型訓練」については、給水車や仮設給水栓、折り畳み式給水タンクを活用した応急給水訓練の他、情報伝達訓練、自家発電設備の操作訓練等を計 120 回実施し、災害対応力の向上を図りました。

「支援協力員との応急給水訓練」については、柏井浄水場において給水車注水作業や、仮設給水栓の組立等、実践的な訓練を 10 月に実施し、地震発生時等における支援協力体制を強化しました。

【達成状況の分析及び課題】

令和７年度における訓練の達成状況は、いずれも計画回数を達成しているため、「達成している」としました。

【今後の具体的取組】

令和８年度も非常時対応訓練の実施により、災害対応力を向上させるとともに、テーマ型訓練、支援協力員訓練による実践的な訓練に取り組むことで、緊急時に備えた体制を強化してまいります。

主な事業名	本局新庁舎の建設【財務課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
2,949,339	3,224,458	0	3,224,458	3,224,284	0	3,224,284
達成指標	（イ）本局新庁舎（仮称）の建設			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
本局新庁舎の建設については、令和７年度の工事完了、令和８年度の供用開始に向けて、令和４年度末に発注した建築、電気設備、空調設備及び衛生設備の各工事の着実な進捗を図っていきます。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	基本設計の完了 実施設計の着手	実施設計の完了 建設工事の着手	建設工事の適正な進捗管理	建設工事の適正な進捗管理	新庁舎の工事完了
実績	基本設計の完了 実施設計の着手	実施設計の完了 建設工事の着手	建設工事の適正な進捗管理	建設工事の適正な進捗管理	新庁舎の工事完了

【事業の実施状況】
建設工事中、当初予定していなかった地中障害物が発見され、その撤去などにより工期の延長を行ったことから、供用開始時期は令和８年度となりました。建設工事は、受注者と定期的に会議を実施し、進捗状況を確認すると共に、必要に応じて助言・指導を行うなど工事の適正な進捗管理を行ったことにより、令和８年１月に工事が完了しました。

【達成状況の分析及び課題】
当初予定していなかった地中障害物の撤去などにより工期の延長を行いましたが、定期的に実施した会議の中で進捗状況を確認するなど、適正な進捗管理に努め、令和８年１月に工事が完了したことから「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
令和８年５月に供用を開始します。

主な取組名　② 給水区域内１１市等関係機関との連携強化

主な事業名	応急給水等連絡調整会議の定期的な開催【計画課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	（ウ）応急給水等連絡調整会議の実施			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
「給水区域内各市における応急給水等連絡調整会議」を開催し、各市との連絡調整及び情報交換等を行うとともに、令和元年房総半島台風等の教訓を踏まえた対応策に基づく役割分担等を再確認します。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	１回/年	１回/年	１回/年	１回/年	１回/年
実績	１回/年	１回/年	１回/年	１回/年	１回/年

【事業の実施状況】
給水区域内１１市との「給水区域内各市における応急給水等連絡調整会議」を５月に開催することにより、相互の役割分担等を再確認し、連携強化を図りました。

【達成状況の分析及び課題】
連絡調整会議を実施したことから、「達成している」としました。

【今後の具体的取組】
引き続き給水区域内１１市と「給水区域内各市における応急給水等連絡調整会議」を開催し、当局と１１市の役割分担等を再確認することで、更なる連携強化を図っていきます。

主な事業名	給水区域内各市との合同訓練の実施、給水区域内各市が開催する合同訓練への参加【計画課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	（エ）給水区域内各市との合同訓練の実施			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
「給水区域内各市との合同訓練の実施」については、令和元年房総半島台風等の対応を教訓とし、県営水道給水区域内１１市との連携強化を図るため、「給水区域内各市における応急給水等連絡調整会議」での意見交換を踏まえた迅速な情報共有や応急給水の適切な役割分担等に関する訓練を実施します。
「給水区域内各市が開催する合同訓練への参加」については、震災時に連携して迅速な応急活動が実施できるよう、給水区域内各市が開催する防災訓練に参加し、応急給水等の訓練を行います。
なお、達成指標は、「給水区域内各市との合同訓練の実施」を対象とします。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	11 回/年	11 回/年	11 回/年	11 回/年	11 回/年
実績	11 回/年	11 回/年	11 回/年	11 回/年	11 回/年

【事業の実施状況】
「給水区域内各市との合同訓練の実施」については、迅速な情報共有や応急給水等の訓練を７月に１１市と共に実施することにより、連携強化を図りました。
「給水区域内各市が開催する合同訓練への参加」については、浦安市総合防災訓練、印西市総合防災訓練等に参加しました。

【達成状況の分析及び課題】
給水区域内各市との合同訓練を実施したことから、「達成している」としました。

【今後の具体的取組】
引き続き、給水区域内各市との合同訓練を通じて、迅速な情報共有や応急給水の適切な役割分担等を再確認することで、更なる連携強化を図っていきます。

≪基本目標２≫「安全」な水の供給
主要施策（４）安全で安心な水づくり
主な取組名　①　水源の監視・保全

主な事業名	水源の水質調査等の実施【浄水課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
19,970	17,820	0	17,820	17,820	0	17,820
達成指標	（ア）水源調査回数			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
当局の水道水源である江戸川、利根川、印旛沼、高滝ダム貯水池とそれらの主な流入河川及び手賀沼の計 34 か所について毎月水質調査を実施するとともに、必要に応じて臨時調査を実施します。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	390 回以上/年	390 回以上/年	390 回以上/年	390 回以上/年	390 回以上/年
実績	535 回/年	538 回/年	542 回/年	570 回/年	538 回/年

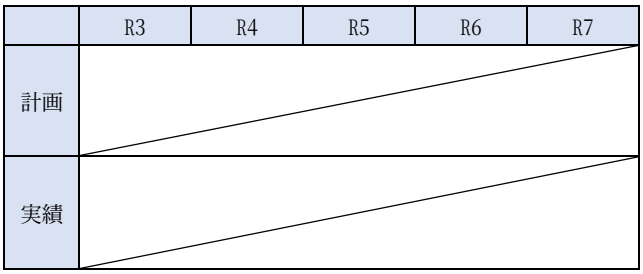
【事業の実施状況】
水道水源等の定期的な水質調査を 390 回実施しました。
また、令和７年度は水道水源において、かび臭物質濃度上昇や油の流出などの水質異常が発生したことから、臨時調査を 148 回実施しました。
水源調査回数は定期と臨時を合わせ 538 回となりました。

【達成状況の分析及び課題】
定期調査に加え適宜臨時調査を実施できたことから、「達成している」と評価しました。その結果をもとに粉末活性炭の注入率を調整するなど適切な浄水処理を行うことができました。

【今後の具体的取組】
引き続き、水道水源とそれらの主な流入河川等について定期的な水質調査を実施するとともに、水源での水質異常時には必要に応じて臨時調査を実施します。

主な事業名	関係機関と連携した監視体制の確保、 印旛沼水質保全協議会をはじめとする各協議会等への参加【浄水課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	―			達成状況	―	

【R7 年度事業計画】
関係機関と水源水質や事故情報の情報共有により、監視体制の確保を進めます。
印旛沼水質保全協議会をはじめとする各協議会へ参加し、水源の水質保全に努めます。



【事業の実施状況】
各協議会を通じて、水源河川等で水質事故が発生した場合の連絡体制を確保するとともに、国や関係自治体等に対して水源保全の推進に関する要望活動を行いました。

【今後の具体的取組】
引き続き水源の水質保全に向けて各協議会に参加するとともに、関係機関と連携し水源の監視体制を確保します。

主な取組名　② 高度浄水処理の導入

主な事業名	ちば野菊の里浄水場（第２期）施設整備事業(再掲)【計画課】→【建設課】（R8～）					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
229,514（再掲）	91,270（再掲）	141,515（再掲）	232,785（再掲）	223,627（再掲）	8,239（再掲）	231,866（再掲）
達成指標	（イ）ちば野菊の里浄水場（第２期）施設整備の推進(再掲)			達成状況		―

【R7 年度事業計画】
　令和６年３月に施設の稼働となり、計画は完了しました。
　なお、令和７年度は、場内整備工事や工事用仮設橋梁撤去工事などの残工事を実施していきます。

【事業の実施状況】
　令和７年度は、場内整備工事等が完了し、工事用仮設橋梁撤去工事に着手しました。

【今後の具体的取組】
　本事業は、令和５年度に施設を稼働したことから、主要施策である安全で安心な水づくりについて達成しました。
　引き続き、残工事を進め、事業の着実な進捗を図っていきます。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	洗浄排水池築造工事の完成	洗浄排水池機械設備工事の完成	施設の稼働	―	―
実績	洗浄排水池築造工事の完成	洗浄排水池機械設備工事の完成	施設の稼働	―	―

主な取組名　③　水質管理の徹底

主な事業名	水安全計画の見直し【浄水課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	（ウ）水安全計画の見直しの実施			達成状況		達成している

【R7 年度事業計画】
　様々な化学物質等による水源水質の異常に対応する管理体制等を予め定めた水安全計画※について見直しを行い、発生が予測されるリスクへの対応を強化します。
※水安全計画
　水源から給水栓に至る全ての段階において、水道水質に悪影響を及ぼす恐れのある危害の原因を明確にし、危害原因を排除するため、重点的かつ継続的に監視を行うべき重要管理点（工程）をあらかじめ定め、管理することで、水の安全性を一層高いレベルで確保する水道システムの管理手法。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	水安全計画の見直し	水安全計画の見直し	水安全計画の見直し	水質管理状況等を踏まえた見直し	水質管理状況等を踏まえた見直し
実績	水安全計画の見直し	水安全計画の見直し	水安全計画の見直し	水質管理状況等を踏まえた見直し	水質管理状況等を踏まえた見直し

【事業の実施状況】
　水安全計画の運用及び評価を行った結果、計画の修正が必要となる事態は発生しなかったため、統計データの時点修正等軽微な修正を実施しました。

【達成状況の分析及び課題】
　水安全計画の見直しを実施したことから「達成している」と評価しました。水安全計画に基づき水質監視及び水質管理を行った結果、水道水質基準を超過する事態は発生しませんでした。

【今後の具体的取組】
　引き続き、水安全計画を適切に運用し、運用に伴い課題等が生じた場合は必要な見直しを実施していきます。

主な事業名	水道ＧＬＰの認定の更新【浄水課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	（エ）水道ＧＬＰの認定維持			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
水道ＧＬＰ※を適正に運用し、水質検査の信頼性を確保します。
※水道 GLP（水道水質検査優良試験所規範）
公益社団法人日本水道協会が認定する、水道事業体の水質検査部門及び登録検査機関を対象とした、水道水質検査結果の精度と信頼性を確保するための要求事項。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	水道 GLP の認定の維持・継続	水道 GLP の認定の維持・継続	水道 GLP の認定の維持・継続	水道 GLP の認定の更新	水道 GLP の認定の維持・継続
実績	水道 GLP の認定の維持・継続	水道 GLP の認定の維持・継続	水道 GLP の認定の維持・継続	水道 GLP の認定の更新	水道 GLP の認定の維持・継続

【事業の実施状況】
水道ＧＬＰに基づき、水質センター職員に対する教育訓練や精度管理を実施したほか、内部監査を実施し、適正に運用されていることを確認するとともに、外部精度管理においても良好な結果を示すことができました。

【達成状況の分析及び課題】
水道ＧＬＰを適正に運用し、認定の維持・継続ができたことから「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
引き続き、水道ＧＬＰを適正に運用し、運用に伴い発生する課題等については必要な見直しを実施します。

主な事業名	水質検査計画の見直し【浄水課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	（オ）水質検査計画の見直しの実施			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
水質基準の改正等を踏まえた水質検査計画※の更新を行います。
※水質検査計画
水質検査の項目・場所・頻度のほか、水源の水質状況や、浄水処理で問題となる項目や原因などを記載したもの。水道法施行規則第 15 条第 6 項において、水道事業者に策定することが義務付けられている。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新
実績	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新	水質検査計画の更新

【事業の実施状況】
令和８年度から PFOS 及び PFOA が水質基準項目に追加されることから、検査項目の表を修正する等、必要な見直しを行い、水質検査計画を令和 8 年度版に更新しました。

【達成状況の分析及び課題】
水質検査計画の更新を行ったことから、「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
引き続き、水質基準の改正等の国の通知や対象物質の検出状況を踏まえ、毎年度必要な見直しを実施します。

主な事業名	水質検査機器の更新【浄水課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
172,819	135,039	0	135,039	103,167	0	103,167
達成指標	（カ）水質検査機器の更新の実施			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
　経年劣化等により検査精度を確保できなくなるおそれのある水質検査機器の更新等を行います。

【事業の実施状況】
　水質検査機器２３台を整備しました。

【達成状況の分析及び課題】
　調達に関する事務を早期に実施した結果、計画どおり機器を整備することができたことから、「達成している」と評価しました。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	水質検査機器 21 台の整備（更新・新規）	水質検査機器 31 台の整備（更新・新規）	水質検査機器 30 台の整備（更新・新規）	水質検査機器 33 台の整備（更新・新規）	水質検査機器 23 台の整備（更新・新規）
実績	水質検査機器 13 台の整備（更新・新規）	水質検査機器 39 台の整備（更新・新規）	水質検査機器 30 台の整備（更新・新規）	水質検査機器 33 台の整備（更新・新規）	水質検査機器 23 台の整備（更新・新規）

【今後の具体的取組】
　引き続き、計画的に機器の更新・整備を行うため、調達に関する事務を早期に実施していきます。

主な事業名	水質自動監視装置の更新【浄水課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
-	-	-	-	-	-	-
達成指標	（キ）水質自動監視装置の更新の実施			達成状況	-	

【R7 年度事業計画】
　令和５年度に水質自動監視装置※（３８台）の更新を完了しました。

※水質自動監視装置
　日常の水質監視業務に加えて、濁り水の発生などの水質の変化を常時把握し、異常時に速やかに対応するため、給水区域の管路末端に設置している。

【事業の実施状況】
　令和５年度に水質自動監視装置３８台の更新工事を完了しました。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	―	水質自動監視装置 38 台の更新着手	水質自動監視装置 38 台の更新完了	―	―
実績	―	水質自動監視装置 38 台の更新着手	水質自動監視装置 38 台の更新完了	―	―

主な事業名	送・配水管の計画的な洗浄【給水課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
219,524	234,665	0	234,665	229,829	0	229,829
達成指標	（ク）送配水管の計画洗浄延長			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
長い管路を使って送られる水道水の水質を適正に維持するため、送・配水管の洗浄を毎年 1,000㎞ 実施します。

【事業の実施状況】
令和７年度の実績は、計画 1,000㎞ に対し、1,314㎞ となりました。（目標に対する実績は、131%）

【達成状況の分析及び課題】
送・配水管の計画的な洗浄について、計画を上回って行ったことから「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
引き続き、水道水の水質を適正に維持するため、送・配水管の計画的な洗浄を実施していきます。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	1,000㎞/年	1,000㎞/年	1,000㎞/年	1,000㎞/年	1,000㎞/年
実績	1,381㎞/年	1,382㎞/年	1,378㎞/年	1,259㎞/年	1,314㎞/年

主な事業名	貯水槽水道の適正管理と直結給水の促進【給水課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
36,101	36,101	0	36,101	35,155	0	35,155
達成指標	（ケ）貯水槽水道の適正管理啓発実施率、直結給水率			達成状況	概ね達成している	

【R7 年度事業計画】
集合住宅やホテル、病院等に見られる貯水槽水道においては、貯水槽施設の適正管理が重要であることから、引き続き、巡回サービス（啓発及び希望者への点検等）により貯水槽設置者への指導・助言を行うとともに、貯水槽施設の規模や使用状況に応じて直結給水化を促進し、安全でおいしい水の普及拡大に努めていきます。
令和 3 年度から令和７年度までの 5 か年の対象貯水槽約 12,000 箇所のうち、令和７年度は約 2,300 箇所の貯水槽を対象として、適正管理についての啓発活動を実施するとともに、直結給水化を促進します。

【事業の実施状況】
啓発実施率は計画100%に対し、実績は100%となりました。
直結給水率は計画 77.6%に対し、実績は 77.3%となりました。

【達成状況の分析及び課題】
啓発実施数に関して、計画を達成しています。
直結給水率に関して、目標達成には至りませんでしたが、計画に対する達成実績は 99.6%とほぼ達成しています。
以上から、事業は進展したことから「概ね達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
引き続き、巡回サービスにより貯水槽設置者への指導・助言を行うとともに、貯水槽施設の規模や使用状況に応じて直結給水化を促進し、安全でおいしい水の普及拡大に努めていきます。

		R3	R4	R5	R6	R7
計画	啓発実施率	23%（累計）	42%（累計）	61%（累計）	81%（累計）	100%（累計）
	直結給水率	75.4%	76.0%	76.5%	77.1%	77.6%
実績	啓発実施率	23%（累計）	43%（累計）	64%（累計）	84%（累計）	100%（累計）
	直結給水率	75.7%	76.2%	76.6%	77.0%	77.3%

主要施策（５）おいしい水の供給

主な取組名　①　おいしい水の技術的な取組

主な事業名	残留塩素低減化試験の実施、塩素多点注入方式の導入【計画課】→【浄水課】（R8）					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
21,252	17,600	0	17,600	17,600	0	17,600
達成指標	（ア）残留塩素の低減化試験等の実施			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
　水道水の安全性を確保しながら、水道水のおいしさを損なう原因となる残留塩素を低減するための試験を実施します。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施
実績	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施	低減化試験の実施

【事業の実施状況】
　松戸給水場、北船橋給水場、北習志野分場、妙典給水場、栗山給水場及び船橋給水場の配水区域で残留塩素低減化試験を実施しました。
　令和７年度の試験結果を受け、令和８年度から松戸給水場については全ての期間の配水残留塩素濃度管理目標値を従来より 0.10mg/L、栗山給水場については夏期及び最夏期の配水残留塩素濃度管理目標値を従来より 0.10mg/L 低減しました。

【達成状況の分析及び課題】
　残留塩素低減化試験を計画どおり実施したため、「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
　お客様に安全でおいしい水をお届けするため、引き続き残留塩素の低減に向けた取組を推進します。

主な事業名	送・配水管の計画的な洗浄（再掲）【給水課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
219,524(再掲)	234,665(再掲)	0(再掲)	234,665(再掲)	229,829(再掲)	0(再掲)	229,829(再掲)
達成指標	（イ）送配水管の計画洗浄延長（再掲）			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
　長い管路を使って送られる水道水の水質を適正に維持するため、送・配水管の洗浄を毎年 1,000km 実施します。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	1,000km/年	1,000km/年	1,000km/年	1,000km/年	1,000km/年
実績	1,381km/年	1,382km/年	1,378km/年	1,259km/年	1,314km/年

【事業の実施状況】
　令和７年度の実績は、計画 1,000km に対し、1,314km となりました。（目標に対する実績は、131%）

【達成状況の分析及び課題】
　送・配水管の計画的な洗浄について、計画を上回って行ったことから「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
　引き続き、水道水の水質を適正に維持するため、送・配水管の計画的な洗浄を実施していきます。

主な事業名	貯水槽水道の適正管理と直結給水の促進（再掲）【給水課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
36,101（再掲）	36,101（再掲）	0（再掲）	36,101（再掲）	35,155（再掲）	0（再掲）	35,155（再掲）
達成指標	（ウ）貯水槽水道の適正管理啓発実施率、直結給水率（再掲）			達成状況	概ね達成している	

【R7 年度事業計画】

集合住宅やホテル、病院等に見られる貯水槽水道においては、貯水槽施設の適正管理が重要であることから、引き続き、巡回サービス（啓発及び希望者への点検等）により貯水槽設置者への指導・助言を行うとともに、貯水槽施設の規模や使用状況に応じて直結給水化を促進し、安全でおいしい水の普及拡大に努めていきます。

令和 3 年度から令和７年度までの５か年の対象貯水槽約 12,000 箇所のうち、令和７年度は約 2,300 箇所の貯水槽を対象として、適正管理についての啓発活動を実施するとともに、直結給水化を促進します。

		R3	R4	R5	R6	R7
計画	啓発実施率	23%（累計）	42%（累計）	61%（累計）	81%（累計）	100%（累計）
	直結給水率	75.4%	76.0%	76.5%	77.1%	77.6%
実績	啓発実施率	23%（累計）	43%（累計）	64%（累計）	84%（累計）	100%（累計）
	直結給水率	75.7%	76.2%	76.6%	77.0%	77.3%

【事業の実施状況】

啓発実施率は計画100%に対し、実績は100%となりました。

直結給水率は計画 77.6%に対し、実績は 77.3%となりました。

【達成状況の分析及び課題】

啓発実施数に関して、計画を達成しています。

直結給水率に関して、目標達成には至りませんでしたが、計画に対する達成実績は 99.6%とほぼ達成しています。

以上から、事業は進展したことから「概ね達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】

引き続き、巡回サービスにより貯水槽設置者への指導・助言を行うとともに、貯水槽施設の規模や使用状況に応じて直結給水化を促進し、安全でおいしい水の普及拡大に努めていきます。

主な取組名　②　おいしい水のお客様との取組

主な事業名	水道出前講座の開催、オフィシャルサイトの更新【計画課】→【浄水課】（R8～）

R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
8,591	8,185	0	8,185	7,860	0	7,860

達成指標	（エ）イベント等ＰＲ活動の実施	達成状況	達成している

【R7 年度事業計画】
　小学校などに出向いて、紙芝居や浄水処理実験など通じて安全でおいしい水を PR する「水道出前講座」を開催します。
　水のおいしいクイズや水質検査体験募集などについて、おいしい水づくりオフィシャルサイトに掲載し、お客様に情報を発信し続けます。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	イベント等 PR 活動の実施	イベント等 PR 活動の実施	イベント等 PR 活動の実施	イベント等 PR 活動の実施	イベント等 PR 活動の実施
実績	イベント等 PR 活動の実施	イベント等 PR 活動の実施	イベント等 PR 活動の実施	イベント等 PR 活動の実施	イベント等 PR 活動の実施

【事業の実施状況】
　水道出前講座は 32 回開催し、1,847 人の方に受講いただきました。
オフィシャルサイトにて水のおいしいクイズを２カ月に１回出題するとともに、ポタリちゃんの水道講座「ろ過・消毒編」「高度浄水処理編」の動画を掲載するなど、水道水の安全性やおいしさをお客様に理解していただけるよう積極的な広報を心掛けました。また、水道出前講座や水質検査体験などの募集案内を掲載し、お客様に参加いただけるよう PR しました。

【達成状況の分析及び課題】
　水道出前講座とオフィシャルサイトの更新を計画どおり実施したため、「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
　安全でおいしい水を PR する水道出前講座を継続するとともに、お客様に水道水の安全性やおいしさについて理解していただけるようオフィシャルサイトの充実を図っていきます。

主な事業名	水質検査体験の実施、おいしい水検定の実施、おいしい水懇話会の開催【計画課】→【浄水課】（R8～）					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
1,103	1,027	0	1,027	765	0	765
達成指標	（オ）水質検査体験/おいしい水検定/おいしい水懇話会 実施・開催回数			達成状況	達成している	

（R7 年度事業計画）

ご応募いただいたお客様に簡易水質検査キットを送付し、お客様ご自身でお客様宅の水道水の水質検査を実施し、測定結果や水道水のアンケートにお答えいただく「水質検査体験」を実施します。

ご応募いただいたお客様に、オフィシャルサイトを通じて、安全でおいしい水道水に関する問題を解いていただくことで、水道水の理解を深めていただく「おいしい水検定」を実施します。

安全でおいしい水づくりについて、客観的なご意見やご要望を得るため、お客様や学識経験者で構成される「おいしい水懇話会」を開催します。

		R3	R4	R5	R6	R7
計画	水質検査体験	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年
	おいしい水検定	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年
	おいしい水懇話会	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年
実績	水質検査体験	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年
	おいしい水検定	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年
	おいしい水懇話会	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年

【事業の実施状況】

「水質検査体験」では 186 名、「おいしい水検定」では 263 名のお客様に参加いただき、水道水の安全性やおいしい水づくりへの取組等について理解を深めていただきました。

また、「おいしい水懇話会」を８月と１月に開催し、これまでの安全でおいしい水づくりの取組の成果及び令和８年度以降の方針を説明し、意見を頂きました。

【達成状況の分析及び課題】

水質検査体験、おいしい水検定、おいしい水懇話会を計画どおり実施したため、「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】

今後も、「水質検査体験」、「おいしい水検定」など水道水についての理解を深めていただく取組を継続します。また、「安全・おいしい水プロジェクト 2021-2025」及び「おいしい水懇話会」は令和７年度をもって終了しましたが、安全でおいしい水づくりの取組は引き続き中期経営計画に位置付けて推進していきます。

≪基本目標３≫お客様からの「信頼」の確保

主要施策（６）お客様サービスの向上

主な取組名　①　支払方法の多様化や手続き等のオンライン化等

主な事業名	支払方法の多様化、手続き、問い合わせ・御相談のオンライン化等【業務振興課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
1,014,805	1,013,866	0	1,013,866	1,006,296	0	1,006,296
達成指標	（ア）支払方法の多様化及び手続き、問い合わせ・御相談等のオンライン化の実施状況			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】

「千葉県営水道 ICT 等を活用したお客様サービス業務改善方針」に基づく取組として、Web 上で水道の使用開始・中止の申込や使用水量、水道料金の確認等が行える「お客様専用ページ」や、お客様からの問合せに自動で対応する「チャットボット」等の機能を有する新受付システムの稼働に向け、システム開発や水道料金システムの改修等を進め、年度内に運用を開始します。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	改善方針策定	クレジットカード払い導入	口座振替申込み Web 受付導入	コンビニ端末を利用した支払い手段導入	新受付システムの稼働
実績	改善方針策定	クレジットカード払い導入	口座振替申込み Web 受付導入	コンビニ端末を利用した支払い手段導入	新受付システムの稼働

【事業の実施状況】

Web 上で水道の使用開始・中止の申込や使用水量、水道料金の確認等が行える「お客様専用ページ」や、お客様からの問合せに自動で対応する「チャットボット」等の機能を有する新受付システムが令和８年１月から稼働しました。

【達成状況の分析及び課題】

令和７年度においては、事業計画に掲げた項目について実施したことから「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】

令和７年度に導入した新受付システムについて、安定的な運用を維持していくとともに、お客様からの要望等に応じた機能改善や、マイポータル等の利用促進を図ってまいります。

主な取組名　②　「お客様の声」を活かした事業運営（広報・広聴の充実）

主な事業名	アンケート調査の実施【業務振興課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
1,307	1,307	0	1,307	1,190	0	1,190
達成指標	（イ）アンケート情報収集割合			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
給水人口 1,000 人あたりの、1 年間に実施したアンケート調査への回答人数の割合（＝情報収集割合）が所定の数値を上回ることを計画の目標としています。
この目標を達成するため、県営水道利用者から選出した 600 名のモニターに対してインターネット上で年 4 回のアンケート調査を行うほか、水道街頭 PR や浄水場見学会の参加者に対し、アンケート調査を実施します。また、県水だよりの読者を対象としたアンケート調査も実施し、幅広いお客様から意見を聴取できる体制を維持します。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	1.87 人/千人(年)	1.87 人/千人(年)	1.87 人/千人(年)	1.87 人/千人(年)	1.87 人/千人(年)
実績	0.91 人/千人(年)	0.94 人/千人(年)	1.95 人/千人(年)	2.60 人/千人(年)	2.35 人/千人(年)

【事業の実施状況】
インターネットモニターアンケート（4 回）、イベントアンケート（13 回）及び県水クイズアンケート（3 回）を実施しました。

【達成状況の分析及び課題】
・インターネットモニターアンケート　2,139 名分
・イベントアンケート　1,565 名分
・県水クイズアンケート　3,549 名分
合計 7,253 名分のアンケートを収集したことにより、情報収集割合が「2.35 人/千人」となったことから、「達成している」と評価しました。（7,253 名分÷3,082,737 人（給水人口）×1,000　2.35）

【今後の具体的取組】
インターネットモニターに対するアンケート調査及びイベントアンケートを実施することで、お客様の声を積極的に収集します。

主な事業名	「お客様の声」の集計･分析及び各所属へのフィードバック【業務振興課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	（ウ）業務改善数			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
広聴相談窓口などを通じて寄せられる様々な御意見を集計・分析し、関係部門にフィードバックすることにより、「お客様の声」を事業運営に役立て、お客様満足度の向上を図っていきます。
また、お客様満足度の向上のため、「お客様の声」に限らず、職員の発案等による業務改善も併せて進めていきます。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	5 業務/年	5 業務/年	5 業務/年	5 業務/年	5 業務/年
実績	5 業務/年	5 業務/年	5 業務/年	5 業務/年	5 業務/年

【事業の実施状況】
・県営水道の手続に使用する様式のホームページへの掲載
・局所有地の管理方法の改善
・ホームページのウェブアクセシビリティの改善
・お客様専用ページ「マイポータル」の導入
・お客様からの問合せに 24 時間対応する「チャットポッド」の運用開始

【達成状況の分析及び課題】
改善数が計画に掲げた目標に達していることから「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
今後もお客様の声を事業運営に役立てていくとともに、職員による発案等も活用し、業務改善を行っていきます。

主な事業名	新たな広聴手段の検討【業務振興課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	（エ）新たな広聴手段の検討と実施			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】

お客様の視点に立った水道事業の運営のためには、お客様の御意見・要望を的確に把握することが不可欠であることから、現在の広聴相談窓口（県水お客様センターや水道事務所での電話受付、県庁ＨＰでのメール受付等）及び各種アンケート調査に加えて、新たに導入される広聴手段を活用し、「お客様の声」の把握を行っていきます。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画				マイポータルなどを活用した新たな広聴手段の設計	マイポータルなどを活用した新たな広聴手段の実施
実績				マイポータルの活用方法の検討	マイポータルの活用体制の整備

【事業の実施状況】

「マイポータル（お客様専用ページ）」内において、「お知らせページへのリンク掲載」が可能であることを確認しました。
このため、アンケートフォームを「ちば電子申請サービス」等の外部ページで公開し、マイポータルはお客様への告知やフォームへの誘導に活用していくこととしました。

【達成状況の分析及び課題】

令和８年１月のマイポータル稼働開始後、マイポータルを通じてお客様からのお問い合わせが多数寄せられ「お客様の声」の把握に役立ったことから、新たな広聴手段としての活用が確認できたとして「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】

令和８年度にアンケートへの活用を検討していきます。

主な事業名	県水だよりやホームページの内容充実、各種媒体（新聞、テレビ、ラジオ、SNS など）を用いた広報【業務振興課・総務企画課】

R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
32,730	30,774	0	30,774	27,499	0	27,499

達成指標	（オ）広報活動の改善状況	達成状況	達成している

【R7 年度事業計画】

広報紙「県水だより」について、各所属の意見を取りまとめ、その時に発信するべき情報を掲載するとともに、お客様の要望を踏まえた記事の掲載や、写真を使用した紙面作りなどの創意工夫を行い、内容の充実を図るとともに、令和８年度から予定している料金改定を踏まえ、効果的・効率的な広報を実施します。

なお、千葉県営水道ホームページについては、「目的の情報にたどりにくい」等の問題の解決に向け、運用マニュアルを策定し、利用しやすいホームページにしていきます。

県公式 SNS を活用して、当局の事業やイベント等の情報を積極的に発信するとともに、新聞、テレビ、ラジオなど各種広報媒体を効果的に組み合わせた広報活動を実施します。

また、令和６年度における県営水道の事業概要と関係資料を取りまとめた「水道事業年報」や、環境施策の取組と成果について取りまとめた「環境報告書」などを作成し、水道事業に対するお客様のご理解とご協力を得ることを目指します。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善
実績	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	お客様の要望を踏まえた広報活動の改善	「県水だより」「ホームページ」のわかりやすさの改善、「公式X」の県広報Xとの統合	「県水だより」「ホームページ」のわかりやすさの改善、お客様の声を基にした情報の発信	「県水だより」「ホームページ」のわかりやすさの改善、お客様の声を基にした情報の発信

【事業の実施状況】

・「県水だより」は、掲載記事についてわかりやすい文章表現になるよう努めたほか、紙面づくりの創意工夫を行い、計３回発行しました。また、料金改定やマイポータルの導入に関する特集記事を掲載するなど、当局からお客様へ積極的に伝えたい情報を発信しました。
・「ホームページ」においては、見やすいページ構成となるよう、バナーやアイコン、イラスト、写真を用いるとともに、文章表現やレイアウトの見直しによりアクセシビリティの向上を図ったほか、リンク切れの対応を実施しました。
・「県公式 SNS（千葉県広報 X）」においては、広報事業に関する情報を中心に様々な情報を発信しました。
・お客様参加型の広報イベントとして、「浄水場見学会（水道週間 86 名、夏休み 45 名、小学校社会科見学 38 回/計 3,558 名）」や「桜の季節見学会（千葉分場 278 名）」、「水道街頭 PR（7 か所/計 2,150 名）」などを実施しました。
・「水道事業年報」においては、局ホームページ上で公開しました。

【達成状況の分析及び課題】

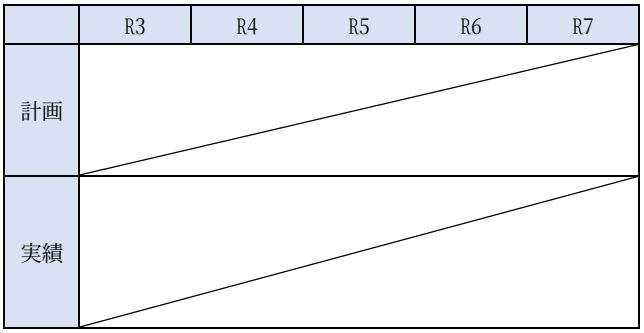
お客様のご意見を踏まえ、「県水だより」及び「ホームページ」の改善を継続して実施するとともに、各種広報媒体を用いてお客様の声を基にした情報発信を行ったことから「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】

令和８年４月をもって「県水だより」が廃止となることから、「県民だより」や県公式 SNS などを積極的に活用していくとともに、当局が発信したい情報に加えて、お客様の興味・関心の高い情報を発信することができるよう努めます。

主な事業名	災害時における適切な情報発信【業務振興課】						
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)			
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計	
0	0	0	0	0	0	0	
達成指標	―				達成状況	―	

【R7 年度事業計画】
　災害が発生した場合、「企業局水道事業震災対策基本計画」等に基づき、必要に応じて、新聞、テレビ、ラジオ等のマスコミへの情報提供や、ホームページへの掲載等による広報活動を行うと同時に、住民からの情報提供や問い合わせ等に対し、適切な広聴活動を行います。



【事業の実施状況】
　給水区域内において漏水等が発生した際に、千葉県営水道ホームページ内「緊急情報ページ」や「千葉県広報 X（旧 Twitter)」を活用した情報提供を行う体制を整えていましたが、漏水等の事案の発生がありませんでした。
　また、県水だより、新聞では防災の日（9 月 1 日）に合わせて防災に関する情報発信を行ったほか、ホームページ上では応急給水拠点や水の備蓄など、緊急時に役立つ情報を常時掲載しています。

【今後の具体的取組】
　引き続き「ホームページ」や「千葉県広報 X」の活用を進めるとともに、災害の発生時には関係課と密接に連携し、速やかな情報提供を行います。

主要施策（７）大規模事業体の責務と社会貢献

主な取組名　①　県内水道の統合・広域連携

主な事業名	九十九里・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道との統合に向けた協議、 県営水道給水地域の水道事業の在り方に関する協議【総務企画課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	―			達成状況	―	

【R7 年度事業計画】
県（知事部局）が推進する「九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道の統合」については、統合基本協定が締結されたところであり、令和８年４月の統合に向けて、引き続き関係機関と連携しながら、統合に向けた調整を進めます。
県（知事部局）を中心に検討している県営水道給水地域の水道事業の在り方については、引き続き当該地域の水道事業体等と連携しながら、検討を進めます。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画					
実績					

【事業の実施状況】
九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道との統合については、令和４年４月に設置された「九十九里・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道の統合協議会」に当局も参画しており、令和７年度末までに同会議が１３回開催されました。令和８年３月に開催された第１３回統合協議会においては、統合に係る各種調整項目について最終の報告を行っております。令和８年４月から新たに千葉県企業局に用水供給部が発足し、九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道との統合が実現することとなっています。
県営水道給水地域の水道事業の在り方については、令和７年度に会議の開催等はありませんでした。

【今後の具体的取組】
新たに九十九里地域・南房総地域と統合された水道用水供給事業が円滑に事業運営できるよう、局内の連携を図ってまいります。
県営水道給水地域の水道事業の在り方については、引き続き、県（知事部局）を中心に当該地域の水道事業体等と連携しながら、「千葉県水道広域化推進プラン」における今後の広域化に係る推進方針に基づき検討を進めてまいります。

主な取組名　②　環境負荷の低減に向けた取組

主な事業名	水運用の効率化、マイクロ水力発電設備、太陽光発電設備の安定的な運用【浄水課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
36,823	38,056	0	38,056	36,378	0	36,378
達成指標	（ア）再生可能エネルギー発電設備活用による発電量			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
配水量の少なくなる夜間における給水ポンプ運転停止等による水運用の効率化や、幕張給水場等に導入したマイクロ水力発電設備、ちば野菊の里浄水場に導入した太陽光発電設備の安定的な運用に取り組むことで、環境負荷の低減を図るとともに、電力消費量の削減を目指します。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	4,200 千 kWh 以上	4,200 千 kWh 以上	4,056 千 kWh 以上	4,329 千 kWh 以上	4,329 千 kWh 以上
実績	4,526 千 kWh	4,499 千 kWh	4,609 千 kWh	4,194 千 kWh	4,490 千 kWh

【事業の実施状況】
マイクロ水力発電設備及び太陽光発電設備を安定的に運用したことにより、令和７年度の発電量は目標の 4,329 千 kWh を上回る 4,490 千 kWh を達成しました。（一般家庭約 1,148 戸分に相当）

【達成状況の分析及び課題】
マイクロ水力発電設備及び太陽光発電設備による発電量は目標を達成したため、「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
引き続き、マイクロ水力発電設備及び太陽光発電設備の安定的な運用により、環境負荷の低減を図るとともに、電力消費量の削減を図ります。

主な事業名	資源リサイクルの実施【計画課・浄水課】→【建設課・浄水課】（R8～）					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
527,505	495,889	0	495,889	364,058	0	364,058
達成指標	（イ）浄水発生土の再資源化率【浄水課】 再利用可能な建設発生土･建設副産物の再資源化率【建設課】			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
　浄水処理工程において発生する浄水発生土については、セメント原料等として再資源化します。
　管路更新工事等において発生する建設発生土については、条件に適合するものは埋め戻し用土として再資源化していきます。
　管路更新工事等において発生するアスファルト塊及びコンクリート塊については、舗装材等として、再資源化していきます。

		R3	R4	R5	R6	R7
計画	浄水発生土	100%	100%	100%	100%	100%
	建設発生土	100%	100%	100%	100%	100%
	建設副産物	99%以上	99%以上	99%以上	99%以上	99%以上
実績	浄水発生土	100%	100%	100%	100%	100%
	建設発生土	100%	100%	100%	100%	100%
	建設副産物	100%	100%	100%	100%	100%

【事業の実施状況】
　浄水発生土は、17,999 トンを全量セメント原料として再資源化しました。
　建設発生土については、湾岸埋立地域等で発生する含水率が高く再資源化が困難なものを除いた 100,486 ㎥を全量埋め戻し用土として再資源化しました。
　建設副産物（アスファルト塊及びコンクリート塊）については、84,320 トンを全量舗装材等として再資源化しました。

【達成状況の分析及び課題】
　計画通り再資源化を実施したことから、「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
　浄水発生土については、セメント原料等として引き続き全量を再資源化していきます。
　管路更新工事等において発生する建設発生土については、再資源化の条件に適合するものは埋め戻し用土として利用するとともに、アスファルト塊及びコンクリート塊については、舗装材等として引き続き再資源化していきます。

主な取組名　③　国際貢献及び他事業体への技術支援

主な事業名	開発途上国への技術支援【計画課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	（ウ）海外水道事業体への技術支援			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
　海外水道事業の研修生を対象とした研修への協力等を実施します。具体的には、講師の派遣や、当局施設に研修生を受け入れ、見学及び実習等を行います。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	技術支援の実施	技術支援の実施	技術支援の実施	技術支援の実施	技術支援の実施
実績	技術支援の実施	技術支援の実施	技術支援の実施	技術支援の実施	技術支援の実施

【事業の実施状況】
　ＪＩＣＡが主催している海外水道事業の研修生を対象とした研修では、講師の派遣や、当局水質センターに研修生を受け入れ、施設見学及び実習等を行いました。

【達成状況の分析及び課題】
　海外水道事業の研修生を対象とした研修で、講師派遣や当局施設の見学等の協力を行ったことから、評価を「達成している」としました。

【今後の具体的取組】
　引き続き、ＪＩＣＡが主催している海外水道事業の研修生を対象とした研修に協力し、開発途上国への技術支援を実施していきます。

主な事業名	水道技術研修の開放による技術支援【計画課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
147	17	0	17	17	0	17
達成指標	（エ）県内水道事業体へ開放する研修講座数			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
千葉県企業局が行っている水道技術研修について、引き続き当局主催の４講座を県内の全ての水道事業体及び用水供給事業体へ開放し、技術向上を支援します。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	4 講座/年	4 講座/年	4 講座/年	4 講座/年	4 講座/年
実績	3 講座/年	4 講座/年	5 講座/年	4 講座/年	4 講座/年

【事業の実施状況】
当局主催の水道技術研修のうち４講座を、県内全ての 40 事業体（令和７年４月現在）に開放し、24 事業体から延べ 78 名が参加しました。
開放した４講座は、「送配水管工事研修Ⅰ（工事の基礎)」、「浄水処理技術研修」、「水質管理研修」及び「技術講座研修（自家発電設備更新工事見学)」です。

【達成状況の分析及び課題】
当局主催の水道技術研修を４講座開放し、県内水道事業体等の技術向上を支援したことから、「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
引き続き、県内全ての水道事業体及び用水供給事業体に、当局が行っている水道技術研修（４講座）を開放し、技術向上を支援します。

主要施策（８）運営基盤の強化

主な取組名　①　職員の育成・確保及び能力開発

主な事業名	水道技術者を育成するための技術研修の実施【計画課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
7,510 (147 再掲)※	7,108 (17 再掲)	0 (0 再掲)	7,108 (17 再掲)	7,108 (17 再掲)	0 (0 再掲)	7,108 (17 再掲)
達成指標	（ア）技術研修等講座数			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】

「実践的な技術研修の実施」による技術継承の推進を図るため、千葉県企業局水道技術研修の各講座や、体験を通じて技術を習得する体験型技術研修を実施します。

※ 一部再掲
水道技術研修の開放による技術支援 147 千円

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	22 講座/年	22 講座/年	22 講座/年	22 講座/年	22 講座/年
実績	22 講座/年	26 講座/年	28 講座/年	26 講座/年	25 講座/年

【事業の実施状況】

水道技術研修計画（第４次）に基づき、基礎研修 11 講座、実務研修 10 講座、体験型技術研修４講座の計 25 講座を実施し、延べ 550 名が受講しました。

【達成状況の分析及び課題】

水道技術研修計画（第４次）に基づき、全ての講座を実施したことに加え、実務研修として「自家発電設備更新工事見学」等の研修を実施したことにより、目標の 22 講座を上回る 25 講座を実施したことから、「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】

引き続き、水道事業の運営に必要な専門的な知識・経験を有する技術職員の継続的な育成のため、実践的な研修を実施し、技術の継承と技術職員のレベルアップに取り組みます。

主な事業名	役職や担当業務に応じた効果的な研修、ＯＪＴ基本計画に基づく組織的なＯＪＴの実施【総務企画課】 接客マナーの向上に向けた取組【業務振興課】

R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
12,316	10,822	0	10,822	7,583	0	7,583

達成指標	（イ）人材育成等を目的とした局独自の研修の実施、改善	達成状況	達成している

【R7 年度事業計画】

企業職員にふさわしい人材育成及び職務の遂行に必要な能力開発を行うために、局主催での研修実施をはじめ、知事部局での研修や外部機関の研修に参加させます。

局主催の研修実施にあたっては、内容等の設定を適切に行うとともに、受講者へアンケート調査を行って意見聴取し、研修テーマや実施形式、研修時間等の内容の見直しを行うなど、より高い研修効果が得られるように改善していきます。

全職員に接客対応マニュアルを配布するとともに、一人ひとりが自己の接客態度を振り返る接客マナーチェックテストを一斉実施します。

また、外部講師による接客サービス向上研修を継続的に実施します。

さらに、接客サービス推進月間及びクレーム等対応実務研修では、各所属の接客サービスについて確認・改善を図るとともに、委託会社に対しても意識啓発を図ります。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施（毎年度）				
実績	局独自の研修の継続（１研修不開催）、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施	局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施	局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施	局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施	局独自の研修の継続、より質の高い研修効果を目指した定期的な内容等の見直しの実施

局に蓄積されている技術力、現場のノウハウを効果的に継承させるため、ＯＪＴ基本計画に基づき、ＯＪＴの有効な推進を図ります。

【事業の実施状況】

・令和６年度に引き続き、研修効果等を勘案しながら局主催研修の開催方法及び内容の検討を進め、研修を実施しました。
・（公社）日本水道協会が主催する研修など、外部機関が実施する研修への参加を促しました。
・接客サービス向上のため、新規採用職員及び水道事務所職員を対象とした「接客サービス向上研修」を実施するとともに、接客サービス推進月間を設定し、各所属の接客サービスの改善や職員の知識・スキル向上を図りました。
・「接客マナーチェックテスト」を実施することで、全ての局職員に接客態度を振り返るよう促しました。

【達成状況の分析及び課題】

・研修の対象者・目的等を踏まえ、より質の高い研修効果が得られるよう、研修ごとに開催方法及び内容等を検討し実施することができました。
・接客サービス向上推進計画に基づき「接客サービス向上研修」を実施しました。研修の実施にあたっては、年間１所属のみで実施していた「接客サービス強化実地研修」を見直し、各出先機関から複数名以上の職員を集め、現場で実際に発生しているクレームを題材にしたロールプレイング形式の対面型研修に改めました。

このように、計画に基づいた研修の実施及び研修内容の見直しを行ったことから、達成状況を「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】

・引き続き、計画に基づいた研修を遅滞なく実施し、社会情勢等を踏まえた研修を検討するとともに、より質の高い研修効果を目指し、研修内容や研修方法の検討を進めます。

主な事業名	ホームページ・広報誌による情報発信、学校訪問、職場見学会等の実施【総務企画課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	（ウ）事業運営に必要な執行体制の確保			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
事業運営に必要な人員を確保するため、ホームページや局紹介パンフレット等による情報発信、県内外の工業高校等への学校訪問及び職場見学会を開催するなどの取り組みを行います。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	新規採用や知事部局との人事交流等の実施（毎年度）				
実績	事業運営に必要な執行体制の確保	事業運営に必要な執行体制の確保	事業運営に必要な執行体制の確保	事業運営に必要な執行体制の確保	事業運営に必要な執行体制の確保

【事業の実施状況】
・令和６年度に引き続き、県内外の工業高校等への訪問や職場見学会の開催などの採用活動を行いました。
・全国の大学及び工業高校等への採用案内の送付等により、採用情報の周知を行いました。
・知事部局等との積極的な人材交流を行い、年齢構成のバランスにも配慮しました。

【達成状況の分析及び課題】
・学校訪問等の職員採用活動を行ったほか、知事部局等との積極的な人材交流などを行い、事業運営に必要な執行体制を確保できたことから、「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
・今後も他自治体等の厳しい人材獲得競争が見込まれることから、引き続き各種広報媒体の活用や学校訪問等による計画的な職員採用活動を行うとともに、職員の再任用や知事部局等との積極的な人材交流に努めていきます。

主な取組名　②　ＩＣＴや民間活力の活用による業務の効率化

主な事業名	支払方法の多様化/手続き、問い合わせ・御相談のオンライン化等（再掲）【業務振興課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
1,014,805 (再掲)	1,013,866 (再掲)	0 (再掲)	1,013,866 (再掲)	1,006,296 (再掲)	0 (再掲)	1,006,296 (再掲)
達成指標	（エ）支払方法の多様化及び手続き、問い合わせ・御相談等のオンライン化の実施状況（再掲）			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
「千葉県営水道 ICT 等を活用したお客様サービス業務改善方針」に基づく取組として、Web 上で水道の使用開始・中止の申込や使用水量、水道料金の確認等が行える「お客様専用ページ」や、お客様からの問合せに自動で対応する「チャットボット」等の機能を有する新受付システムの稼働に向け、システム開発や水道料金システムの改修等を進め、年度内に運用を開始します。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	改善方針策定	クレジットカード払い導入	口座振替申込み Web 受付導入	コンビニ端末を利用した支払い手段導入	新受付システムの稼働
実績	改善方針策定	クレジットカード払い導入	口座振替申込み Web 受付導入	コンビニ端末を利用した支払い手段導入	新受付システムの稼働

【事業の実施状況】
Web 上で水道の使用開始・中止の申込や使用水量、水道料金の確認等が行える「お客様専用ページ」や、お客様からの問合せに自動で対応する「チャットボット」等の機能を有する新受付システムが令和８年１月から稼働しました。

【達成状況の分析及び課題】
令和７年度においては、事業計画に掲げた項目について実施したことから「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
令和７年度に導入した新受付システムについて、安定的な運用を維持していくとともに、お客様からの要望等に応じた機能改善や、マイポータル等の利用促進を図ってまいります。

主な事業名	ＩＣＴ（情報通信技術）等の活用による業務の効率化に向けた検討【総務企画課】

R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
3,757	3,772	0	3,772	2,013	0	2,012

達成指標	（オ）ＩＣＴ（情報通信技術）等を活用した業務の実施と更なる効率化の検討	達成状況	達成している

【R7 年度事業計画】
令和７年度は、令和６年度までに導入したウェアラブルカメラ（※）及びローコード開発ツール（※）を引き続き活用し、業務効率化を図ります。
併せて、県（知事部局）の動向等を踏まえ、ICT（情報通信技術）の利活用による業務の効率化に向けて検討を進めます。

※ウェアラブルカメラ：現場で装着・設置して撮影した映像を遠隔からリアルタイムで確認・会話できるクラウド録画型カメラ
※ローコード開発ツール：クラウド上で様々な職員が同時にデータを閲覧、編集できるデータベース型の業務システム（アプリ）

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	検討の実施	検討の実施	機器等の試行的導入	ウェアラブルカメラの本格的導入等	その他検討の実施
実績	検討の実施	検討の実施・機器の実証実験等	機器等の試行的導入	ウェアラブルカメラの本格的導入等	ウェアラブルカメラ導入の拡大等

【事業の実施状況】
令和６年度に導入したウェアラブルカメラについて、導入対象所属を拡大し、情報伝達の迅速化など、業務の効率化を図りました。
また、令和６年度に引き続き、ローコード開発ツールを活用した幕張庁舎での郵便物集計システムを運用しました。
その他、県（知事部局）の動向を踏まえ、会議や打ち合わせ、決裁時におけるペーパーレス化を推進しました。

【達成状況の分析及び課題】
上記の取組を通じ、業務の効率化を推進したことから「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
ウェアラブルカメラについて、更なる活用方法について検討を行います。
また、引き続きローコード開発ツールの活用による業務効率化を図ります。
併せて、ICT（情報通信技術）の利活用による業務の効率化に向けて検討を進めます。

主な事業名	配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託/ＤＢ等の新たな契約手法の調査・検討【給水課】

R7 年度予算額(千円) ※鋳鉄管更新工事（再掲）				R7 年度決算額等(千円) ※鋳鉄管更新工事（再掲）		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
30,400,000（再掲）	27,362,850（再掲）	10,745,161（再掲）	38,108,011（再掲）	26,649,179（再掲）	10,606,029（再掲）	37,255,208（再掲）

達成指標	（カ）配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施	達成状況	達成している

【R7 年度事業計画】
増加する管路の更新・整備需要に対応するため、監督職員が行う工程管理や工事現場における立会、施工状況の確認等の業務を可能な限り民間業者に委託することにより業務の効率化を図るとともに、新たな契約手法として令和４年度に試行導入した概算数量設計発注方式について、引き続き試行工事を実施します。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施（毎年度）				
実績	配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施	配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施	配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施	配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施	配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施

【事業の実施状況】
令和７年度は、配水管整備工事において施工管理業務の民間委託を１３件実施しました。
また、令和４年度から試行導入している概算数量設計発注方式について、試行工事を３９本発注しました。

【達成状況の分析及び課題】
施工管理業務委託の実施により業務の効率化が図られたことから、「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
今後も、民間活力を活用した業務の効率化を図るとともに、概算数量設計発注方式においては、引き続き試行工事を実施していきます。

主な取組名　③　システムの安定運用及びセキュリティ対策の強化

主な事業名	情報システム及びネットワークの整備【業務振興課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
4,123,849 (766,804 再掲)	3,883,261 (766,804 再掲)	0 (0 再掲)	3,883,261 (766,804 再掲)	3,807,556 (766,802 再掲)	7,403 (0 再掲)	3,814,959 (766,802 再掲)
達成指標	（キ）情報システム等の整備件数			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
　情報システムの安定運用及び情報資産の安全性確保を図るため、機器等の調達及びシステム開発等を行うとともに適切な維持管理を実施します。
　・新庁舎移転に伴うネットワーク機器調達
　・新受付システムの開発　等

※一部再掲
　新受付システムの開発　766,804 千円
　３（６）①支払方法の多様化や手続き等のオンライン化等

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	18 件/年	13 件/年	6 件/年	4 件/年	5 件/年
実績	17 件/年	13 件/年	6 件/年	4 件/年	5 件/年

【事業の実施状況】
　新受付システムの開発、給・配水管修繕工事集計システムの改修、非常時職員参集管理システム及び被害情報収集管理システムの更新、新庁舎移転に伴うネットワークの整備の計５件の整備を行いました。

【達成状況の分析及び課題】
　計画通りに情報システムの整備を実施することができたことから、「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
　新庁舎のネットワーク整備継続のほか、企業局情報システム用パソコンの更新など、引き続き情報システムの安定的な運用に向けた整備を実施していきます。

主な事業名	情報セキュリティ研修の実施【業務振興課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	（ク）情報セキュリティ研修等受講者数			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
　水道サービスの安全かつ持続的な提供を確保するため、職員のセキュリティに対するさらなる知識の習得や意識の向上を図る研修等を実施し、個人情報等の保護及び不正利用の防止に取り組みます。

【事業の実施状況】
　情報セキュリティの知識や意識の向上・改善に向けた情報セキュリティ研修等を情報セキュリティ担当者及び管理職職員、新任職員などを対象に実施し、延べ 748 名が受講しました。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	150 名/年	150 名/年	150 名/年	150 名/年	150 名/年
実績	198 名/年	231 名/年	585 名/年	661 名/年	748 名/年

【達成状況の分析及び課題】
　職員への情報セキュリティ研修について、計画以上の受講者があったこと、受講後アンケートの回答者の約９割が研修を理解しセキュリティ意識が向上したと回答したことから、「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
　引き続き職員の情報セキュリティの知識や意識の向上・改善に向けた情報セキュリティ研修を実施します。また、研修内容については、最新のセキュリティインシデントの事例やコンピューターウイルス感染事例等について扱い、現実に則した内容となるよう努めます。

主な事業名	ネットワークの監視【業務振興課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	（ケ）障害等への即日の初動対応率			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
県営水道では、情報システムを幅広い分野で活用しており、システム障害等は業務の継続性に大きな影響を及ぼすことから、ネットワークの監視を行っております。監視の結果、計画停電等の既知の障害等を除き、業務の継続に影響のあるネットワークの性能低下や障害等を検知した場合は、初動対応を即日実施し、障害等の影響の最小化を図ります。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	100%/年	100%/年	100%/年	100%/年	100%/年
実績	100%/年	100%/年	100%/年	100%/年	100%/年

【事業の実施状況】
監視サーバを用いることにより、通信機器における動作状況を常時監視しています。監視業務は外部委託により 24 時間 365 日継続して実施しています。異常があった際は職員や保守業務委託者による復旧を行っています。

【達成状況の分析及び課題】
ネットワークの異常を検知した際には、原因切り分けを速やかに行い、可用性を確保したことから、「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
引き続きネットワーク監視を行うとともに、障害時には速やかに対応を実施し、ネットワークの安定運用に努めます。

主な取組名　④　健全経営の推進

主な事業名	経費の削減【総務企画課】					
R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
0	0	0	0	0	0	0
達成指標	（コ）経費の削減			達成状況	達成している	

【R7 年度事業計画】
　健全経営を維持しながら、今後、増大する水道施設の更新と耐震化を実施していくため、品質確保に留意したコスト削減を進めていきます。

	R3	R4	R5	R6	R7
計画	工事コスト・ランニングコストの縮減 経常費用の圧縮（毎年度）				
実績	品質確保に留意したコスト削減に努めた	品質確保に留意したコスト削減に努めた	品質確保に留意したコスト削減に努めた	品質確保に留意したコスト削減に努めた	品質確保に留意したコスト削減に努めた

【事業の実施状況】
・小中口径管の更新工事において、発注規模の大型化により、契約事務量の低減化に努めるほか、長寿命管であるＧＸ管を使用することにより、ライフサイクルコストの低減化に取り組みました。
・事務用品等について一括調達を行った他、ＩＴ関連機器についても統一化・集約化を推進し、一括調達することで調達コストと契約事務の低減化を図りました。
・入札に係る審査会や経営戦略会議など、会議等で使用する資料のペーパーレスを推進し、また、紙決裁から電子決裁に変更するなどしながら、印刷事務負担の低減とコピー用紙等の削減を図りました。
・マイクロ水力発電及び太陽光発電の運用と必要圧力に合わせた送配水圧力の低減等により、電力消費量（電気料金）の削減を図りました。

　＜削減効果の例＞
・ペーパーレス化に伴う印刷用紙の削減：
　<入札に係る審査会>約 28,000 枚/年、<経営戦略会議>約 12,000 枚　等
・マイクロ水力発電等の運用による電力消費量の削減　：約 4,000 千 kWh を発電（一般家庭約 1,000 戸分に相当）

【達成状況の分析及び課題】
　上記の取組を実施することにより、品質確保に留意したコスト削減を実施するとともに、経常費用の圧縮に努めたことから、「達成している」と評価しました。

【今後の具体的取組】
　引き続き、健全経営を維持しながら、水道施設の更新と耐震化を実施していくため、品質確保に留意したコスト削減及び業務効率化の取組を行っていきます。

主な事業名	企業債の活用及び適正管理、国への要望活動【財務課】

R7 年度予算額(千円)				R7 年度決算額等(千円)		
R7 当初予算	R7 最終予算	R6→R7 繰越	計	決算額	R7→R8 繰越	計
36,000,000	16,100,000	15,900,000	32,000,000	22,000,000	7,000,000	29,000,000

達成指標	―	達成状況	―

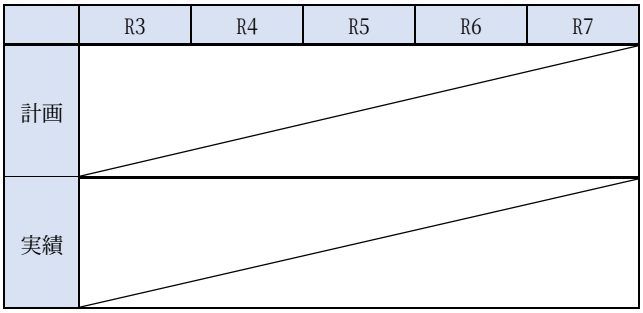
【R7 年度事業計画】

近年の物価高騰や施設の更新・耐震化に伴う減価償却費の増などにより、中期経営計画期間中の純利益は計 193 億円となり、計画の 292 億円を下回る見込みです。

こうした中でも、施設の更新･耐震化を着実に進めていくため、企業債については、金利の動向、企業債残高、資金残高等に留意しつつ、活用を図っていきます。

この結果、令和７年度末の企業債残高は、中期経営計画における企業債残高を上回る 2,058 億円となる見込みです。

・令和７年度起債見込（当初予算）360 億円



また、企業債の借入による将来負担の軽減を図るため、平成 19 年度から平成 24 年度にかけて実施された公的資金補償金免除繰上償還制度の復活や要件の緩和を目指し、公益社団法人日本水道協会の総会などを通じ、国への要望活動を行っていきます。

○起債状況　　単位：億円

		R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 見込	R7 見込
各年度末の残高	収支見通し	1,491	1,592	1,717	1,804	1,916
	実績	1,386	1,392	1,571	1,820	2,058
	計画 R7 残高との差	530	524	345	96	▲142

○純利益の状況　　単位：億円

	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 見込	R7 見込	計画期間計
収支見通し	17	81	75	63	56	292
実績	85	39	58	9	2	193

【事業の実施状況】

令和７年度最終予算（R6→R7 繰越含む）320 億円に対し、220 億円分の企業債を発行しました。充当対象となる建設事業の繰越に伴い、令和７年度中の起債を一部見送ったため、繰越分については繰越事業が完了する令和８年度中に発行予定です。

企業債残高は令和７年度末で 1,759 億円となり、中期経営計画における令和７年度末企業債残高である 1,916 億円を 157 億円下回っています。

また、総務省が作成している「経営比較分析表」の指標の１つである「企業債残高対給水収益比率」は、令和７年度末に 2.95 倍となりました。前年度の数値ではありますが、令和６年度の類似団体平均値の 2.53 倍と比べてやや高い水準となりました。

国への要望活動については、公益社団法人日本水道協会へ公的資金補償金免除繰上償還制度の復活及び拡充の要望を提出しました。

○起債状況　　単位：億円

		R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 決算	R7 決算
各年度末の残高	収支見通し	1,491	1,592	1,717	1,804	1,916
	実績	1,386	1,392	1,571	1,661	1,759
	計画 R7 残高との差	530	524	345	255	157

○純利益の状況　　単位：億円

	R3 決算	R4 決算	R5 決算	R6 決算	R7 決算	計画期間計
収支見通し	17	81	75	63	56	292
実績	85	39	58	48	34	264

【今後の具体的取組】

水道施設の更新需要や、労務単価及び資材単価の上昇に伴い、建設改良費が増大する中、更新財源の確保を図っていく必要があることから、企業債について、金利の動向、企業債残高、資金残高等に留意しつつ、活用を図っていきます。